

令和2年度 IR 推進センター 事業実施報告

1) 概要

IR 推進センター (Institutional Research Center) は、大学の教育研究に関する目標・事業計画の進捗状況の評価に必要なデータ及び分析結果の提供を行い、全学的な教育研究活動における適切な PDCA の推進を支援することを目的に、令和2年4月に設置されました。学内の各部署に蓄積されている入学前～卒後に至る多様なデータを統合・分析し、学生募集、教育研究活動、卒後支援に係る効果的なエンロールメント・マネジメント (入試～卒後までを一貫してサポートする総合的な学生支援策) に関する情報を管理し、各学部等からの分析依頼に対して結果をフィードバックするとともに、収集したデータに基づき、各学部等に対して改善施策の提案を行うのを主な業務としています。

2) 組織

- ・センター長 (副学長 (教育・研究担当)) 1名
- ・副センター長 (准教授) 1名
- ・担当教員 (助教) 1名
- ・事務担当 1名
- ・補助職員 1名

3) 沿革

令和2年4月 IR 推進センター設置

上田陽一副学長がセンター長となる。前田理恵子が事務担当となる。

令和3年1月 井上彰臣が副センター長 (准教授) となる。井上由貴子が助教となる。

大野麻樹子が補助職員となる。

4) スタッフ (令和3年1月現在)

氏名	職名
上田陽一	副学長・センター長・医学部 第1生理学講座 教授
井上彰臣	副センター長・准教授 (専任)
井上由貴子	助教 (専任)
前田理恵子	事務担当・大学事務部 大学管理課長代理
大野麻樹子	補助職員 (専任)

5) 令和2年度の活動内容

- ・ IR 推進センター運営会議の開催（全7回）
- ・ 統合データベースの導入・分析基盤の構築
- ・ 「IR 推進センターのデータの取扱いに関する細則」の制定（令和3年1月1日施行）
- ・ アセスメントプラン（学修成果の把握に関する方針）の作成

<IR 推進センター運営会議の議事概要>

回数	開催日	主な議題
第1回	令和2年6月23日	IR 推進センターの今後の運営
第2回	令和2年7月30日	統合データベースの導入、分析基盤の構築等
第3回	令和2年8月27日	統合データベースの導入、分析基盤の構築等
第4回	令和2年11月11日	IR 推進センターのデータの取扱いに関する細則等 第4次中期目標・中期計画（案）
第5回	令和2年11月13日 （メール審議）	第4次中期目標・中期計画（案）の改訂
第6回	令和3年2月4日	統合データベースの運用 IR 推進センターの今後の活動予定
第7回	令和3年3月11日	令和3年度 事業実施計画・予算執行計画（案） 令和3年度 大学教育・研究に関する目標・事業計画（案） 産業医科大学アセスメントプラン（案）

6) 令和2年度の教育業績（専任教員）

<卒前教育>

産業保健学部：産業保健学概論、産業看護学概論

<卒後教育>

医学部：産業医学総合実習（C. 「メンタルヘルス」）

7) 令和2年度の研究業績（専任教員）

- ・ 小林由佳, 井上彰臣, 津野香奈美, 櫻谷あすか, 大塚泰正, 江口 尚, 渡辺和広. リーダーシップの理論と産業保健専門職のリーダーシップへの応用: 文献レビュー. 産業医学レビュー 2021; 33(3): 225-250.
- ・ Kachi Y, Fujiwara T, Eguchi H, Inoue A, Baba S, Ohta H, Tsutsumi A. Association between maternity harassment and depression during pregnancy amid the COVID-19 state of emergency. J Occup Health 2021; 63(1): e12196.

- Kachi Y, Abe A, Eguchi H, Inoue A, Tsutsumi A. Mothers' nonstandard work schedules and adolescent obesity: a population-based cross-sectional study in the Tokyo metropolitan area. BMC Public Health 2021; 21(1): 237.
- 井上彰臣. 職の不安定性と労働者の心の健康：仕事の資源の緩衝効果. Precis Med 2021; 4(2): 82 (172)–85 (175).
- 井上彰臣, 堤 明純. 第 36 回日本ストレス学会学術総会開催報告. 産業医学ジャーナル 2021; 44(2): 58–62.